

高齢者保健福祉計画・第 7 期介護保険事業計画（最終素案）に係る
軽微な追加・修正箇所について

- P5 「被保険者数の推移」の【第 1 号被保険者数の推移】の棒グラフ及び【第 1 号被保険者数のうち後期高齢者が占める割合の推移】の折れ線グラフに平成 29 年データの追加
- P7 「要介護・要支援認定率」の【要支援・要介護認定率の推移】及び【要支援・要介護度別の認定率の推移】の折れ線グラフに平成 29 年データの追加

●P7 「要介護・要支援認定率」の文言修正
修正前

(1) 要介護・要支援認定率

要支援・要介護認定率は減少し続けており、要介護 1 を除き、それぞれの要支援・要介護の認定率が全体的に減少傾向にあることが要因となっています。平成 25 年以降は、全国や兵庫県の認定率を下回って推移しています。

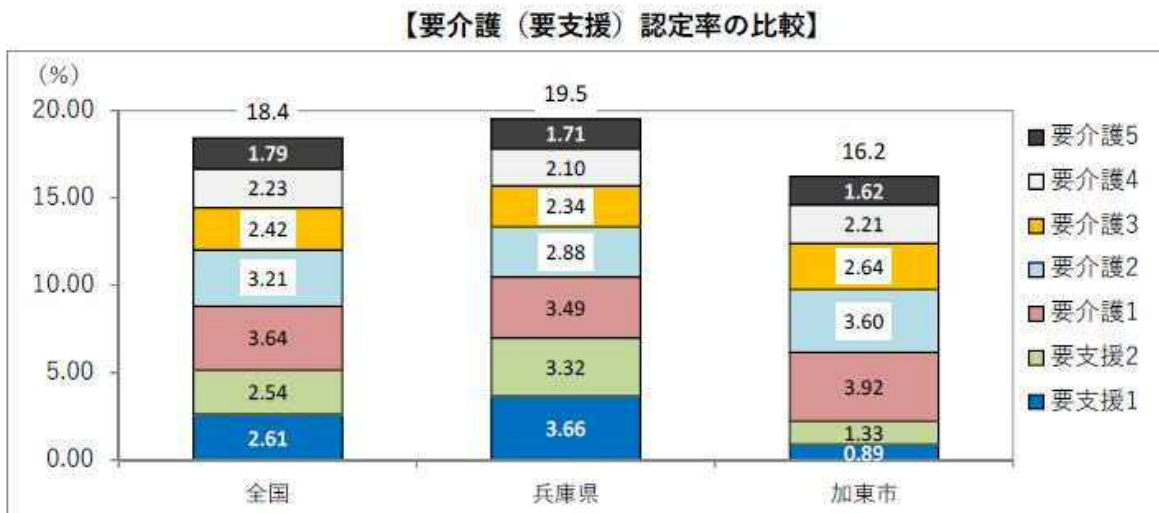


修正後

(1) 要介護・要支援認定率

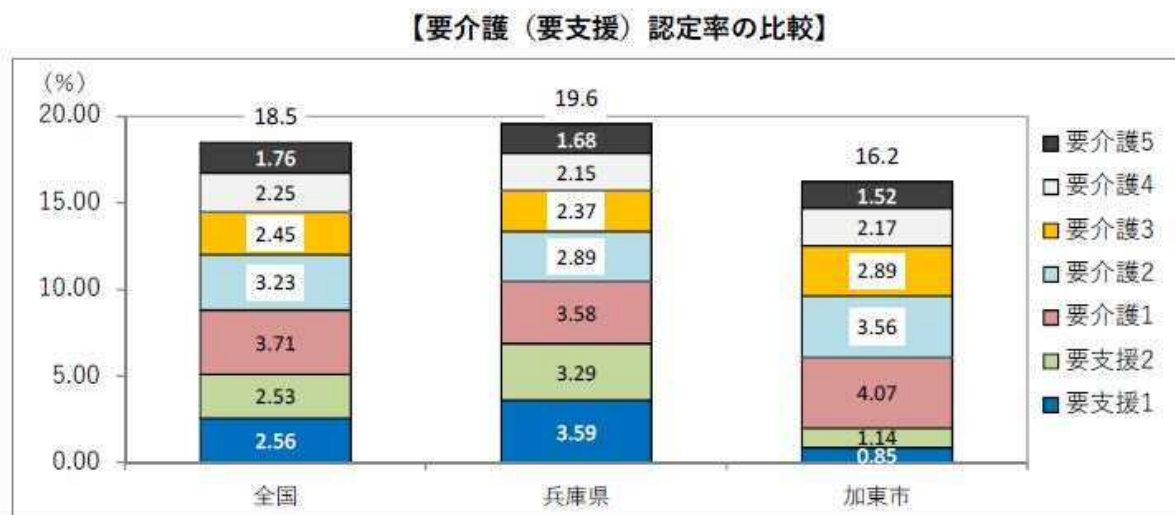
要支援・要介護認定率は減少し続けており、要介護 1・3 を除き、おおむねそれぞれの要支援・要介護の認定率が全体的に減少傾向にあることが要因となっています。平成 25 年以降は、全国や兵庫県の認定率を下回って推移しています。

●P8 【要介護(要支援)認定率の比較】の棒グラフを平成 29 年 9 月月報に修正
修正前



資料：介護保険事業状況報告（平成 28 年 9 月月報）

修正後



資料：介護保険事業状況報告（平成 29 年 9 月月報）

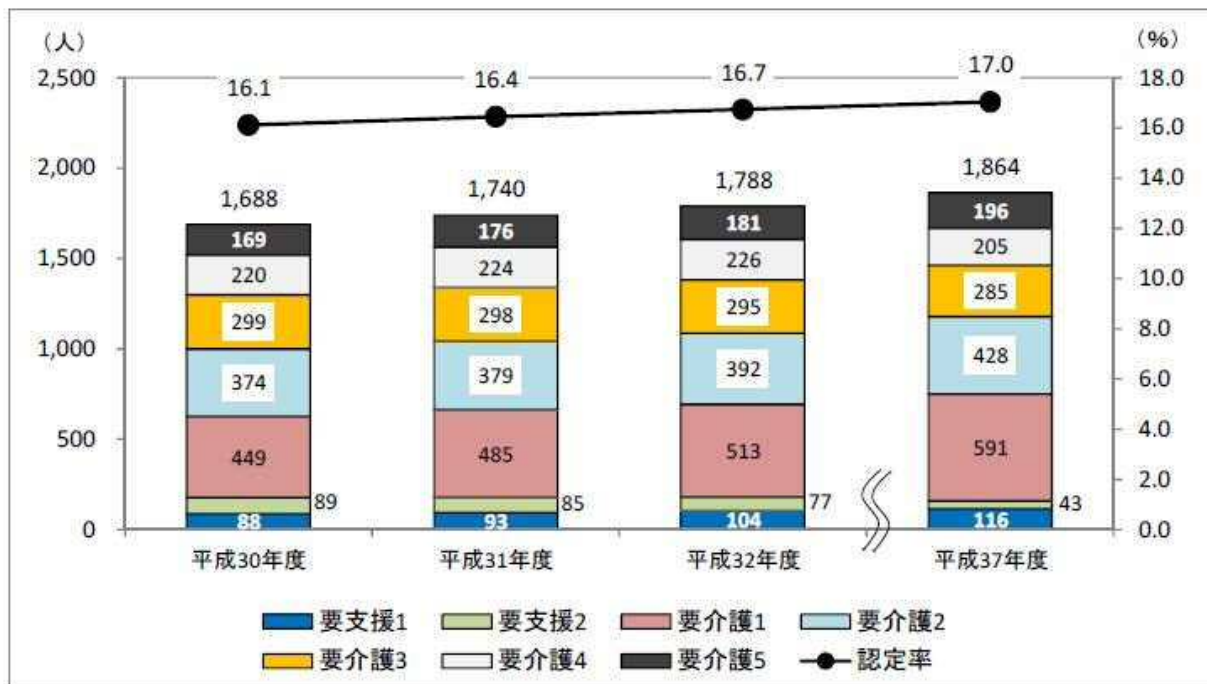
●P8 【要支援・要介護認定者の推移】の棒グラフに平成 29 年データの追加

●P12 【総給付費、受給者数】の折れ線グラフに平成 28 年データの追加

●P14 「要介護認定者数」のグラフを最新データによる推計値に修正

修正前

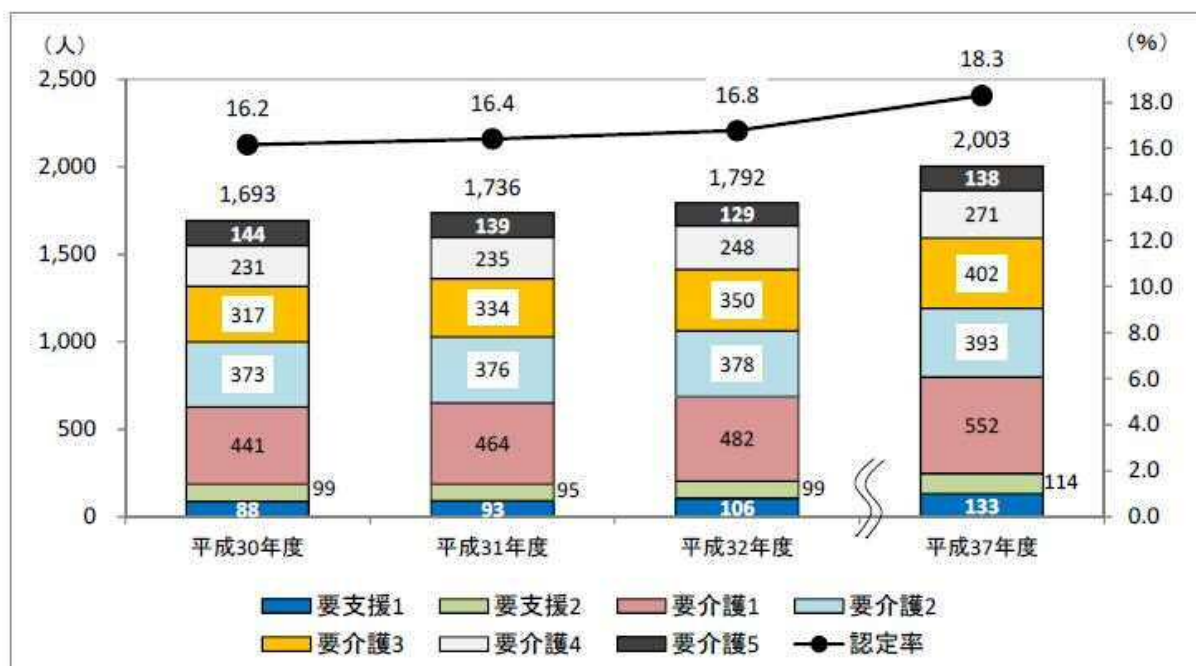
(2) 要介護認定者数 (平成 29 年 11 月時点)



修正後

(2) 要介護認定者数

本計画期間中、要介護認定者は増加すると見込んでいます。平成 37 年度 (2025 年度) には要介護認定者は 2,000 人を超えると見込まれます。



●P16 「調査結果(一般高齢者・要支援認定者)」の「①普段の生活で介護・介助が必要か」の文言修正

修正前

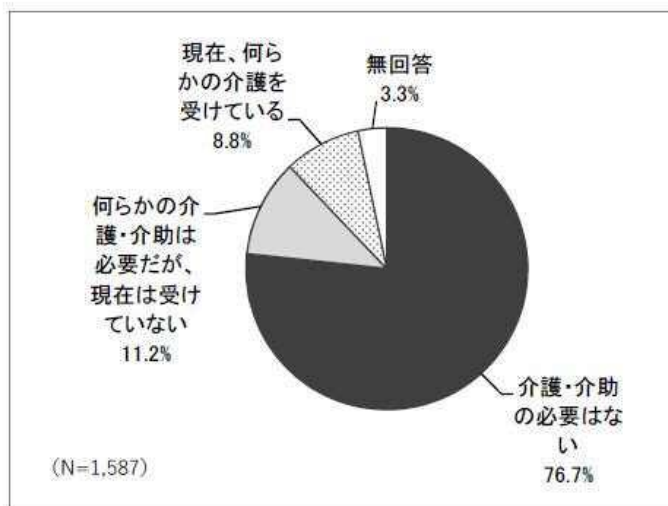
介護・介助の必要はない人が多数を占めていますが、約20%が何らかの介護を必要としています。



修正後

介護・介助の必要はない人が多数を占めていますが、約20%が何らかの介護を受けているか必要としています。

なお、要支援認定者では約80%、一般高齢者では約12%が何らかの介護・介助を必要としています。



●P39 「計画の体系」の基本目標1の文言修正

修正前

基本目標1 元気な高齢者を増やすために
(介護予防と高齢者の生きがいの推進)

施策の方向性	具体的施策・事業
1 高齢者の <u>社会参加</u> と生きがいの推進	(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進
	(2) 高齢者の相互支援などの活動運営支援の充実
2 高齢者を支える <u>人材</u> と活躍の場の充実	(1) 地域の介護予防・生活支援を担う人材育成
	(2) 就業・事業の立ち上げ・ボランティア活動の促進



修正後

基本目標1 元気な高齢者を増やすために
(介護予防と高齢者の生きがいの推進)

施策の方向性	具体的施策・事業
1 高齢者の <u>社会参加の促進</u> と生きがいの推進	(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進
	(2) 高齢者の相互支援などの活動運営支援の充実
2 高齢者を支える <u>人材育成</u> と活躍の場の充実	(1) 地域の介護予防・生活支援を担う人材育成
	(2) 就業・事業の立ち上げ・ボランティア活動の促進

●P39 「計画の体系」の基本目標2の文言修正

修正前

基本目標2 高齢者を地域で支える仕組みづくり
(地域包括ケアシステムの構築)

施策の方向性	具体的施策・事業
1 包括的な地域ケア体制の充実	(1) 地域包括支援センターの機能強化
	(2) 相談体制の充実
	(3) 地域ケア会議の充実
2 <u>家族介護者に対する支援</u>	(1) 家族介護が継続できるための施策の推進
3 認知症高齢者への支援の充実	(1) 認知症ケアネット（認知症ケアパス）と相談支援体制の推進
	(2) 認知症の早期発見・早期支援の取組 (物忘れ相談プログラム・認知症初期集中支援チーム等)
	(3) 地域における支援体制の強化 (認知症サポーター養成講座・家族への支援など)
	(4) 若年性認知症の人とその家族の支援
4 多様な生活支援の充実	(1) 生活支援体制の整備促進
	(2) 多様なサービスの充実
5 在宅医療・介護連携の推進	(1) 医療と介護の連携強化
6 権利擁護の取り組みの充実	(1) 高齢者虐待ネットワークの推進
	(2) 成年後見制度の利用促進に向けた取組
7 居住・生活環境の整備・充実	(1) 高齢者にやさしい居住環境づくりの推進 (人生80年いきいき住宅助成事業)
	(2) 安心できる居住の場の確保
8 災害時・緊急時の支援体制の充実	(1) 市民の防災意識の向上のための取組 (避難行動要支援者支援制度)
	(2) 安否確認・避難誘導体制の確立
	(3) 社会福祉施設等との防災協定に基づく避難所の <u>確保</u>



修正後

施策の方向性	具体的施策・事業
1 包括的な地域ケア体制の充実	(1) 地域包括支援センターの機能強化
	(2) 相談体制の充実
	(3) 地域ケア会議の充実
2 <u>家族介護者に対する支援の充実</u>	(1) 家族介護が継続できるための施策の推進
3 認知症高齢者への支援の充実	(1) 認知症ケアネット（認知症ケアパス）と相談支援体制の推進
	(2) 認知症の早期発見・早期支援の取組 (物忘れ相談プログラム・認知症初期集中支援チーム等)
	(3) 地域における支援体制の強化 (認知症サポーター養成講座・家族への支援など)
	(4) 若年性認知症の人とその家族の支援
4 多様な生活支援の充実	(1) 生活支援体制の整備促進
	(2) 多様なサービスの充実
5 在宅医療・介護連携の推進	(1) 医療と介護の連携強化
6 権利擁護の取組の充実	(1) 高齢者虐待ネットワークの推進
	(2) 成年後見制度の利用促進に向けた取組
7 居住・生活環境の整備・充実	(1) 高齢者にやさしい居住環境づくりの推進 (人生80年いきいき住宅助成事業)
	(2) 安心できる居住の場の確保
8 災害時・緊急時の支援体制の充実	(1) 市民の防災意識の向上のための取組 (避難行動要支援者支援制度)
	(2) 安否確認・避難誘導体制の確立
	(3) 社会福祉施設等との防災協定に基づく避難所の <u>運営</u>

●P42 【日常生活圏域別の介護サービス事業所数】の地域密着型通所介護の修正
修正前

【日常生活圏域別の介護サービス事業所数】

サービス事業所		市全体	社圏域	滝野圏域	東条圏域
地域密着型 サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護	1	1	0	0
	認知症対応型通所介護	1	1	0	0
	小規模多機能型居宅介護	3	1	1	1
	認知症対応型共同生活介護	3	1	1	1
	地域密着型老人福祉施設入所者生活介護	1	0	1	0
	地域密着型通所介護	<u>9</u>	<u>5</u>	2	2



修正後

【日常生活圏域別の介護サービス事業所数】

サービス事業所		市全体	社圏域	滝野圏域	東条圏域
地域密着型 サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護	1	1	0	0
	認知症対応型通所介護	1	1	0	0
	小規模多機能型居宅介護	3	1	1	1
	認知症対応型共同生活介護	3	1	1	1
	地域密着型老人福祉施設入所者生活介護	1	0	1	0
	地域密着型通所介護	<u>8</u>	<u>4</u>	2	2

●P50 タイトルの文言修正

修正前

(2) 高齢者の社会参加の促進と生きがい対策事業の充実
(老人クラブ・高齢者大学・敬老事業)



修正後

(2) 高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりの推進
(老人クラブ・高齢者大学・敬老事業)

●P51 【関連する主な事業】の実施主体の追加

【関連する主な事業】

事業名	事業内容	実施主体
老人クラブ	生きがいを高めるための活動や健康づくりのための活動、社会奉仕活動、高齢者相互支援活動などを実施	市 社会福祉協議会 <u>老人クラブ</u>

●P55 【実績及び計画値】の「認知症サポーター養成者数」の実績及び計画値の修正

修正前

認知症サポーター	養成者数 (人)	計画値				<u>300</u>	<u>320</u>	<u>330</u>
		実績値	257	<u>259</u>	※280			
	活動者数 (人)	計画値				5	7	10
		実績値	—	—	—			



修正後

認知症サポーター	養成者数 (人)	計画値				<u>400</u>	<u>400</u>	<u>400</u>
		実績値	257	<u>243</u>	※300			
	活動者数 (人)	計画値				5	7	10
		実績値	—	—	—			

●P66 タイトルの文言修正

修正前

2 家族介護者に対する支援

(1) 家族介護者を地域で支える施策の推進



修正後

2 家族介護者に対する支援の充実

(1) 家族介護が継続できるための施策の推進

●P94 【施設・居住系サービスの整備箇所数及び床数の累計】の特定施設入居者生活介護の床数の修正

修正前

【施設・居住系サービスの整備箇所数及び床数の累計】

単位：箇所、()内は床数

	H29年度までの整備	H30年度までの整備	H31年度までの整備	H32年度までの整備
特定施設入居者生活介護 (床数)	1 (72)	1 (<u>107</u>)	1 (<u>107</u>)	1 (<u>107</u>)



修正後

	H29年度までの整備	H30年度までの整備	H31年度までの整備	H32年度までの整備
特定施設入居者生活介護 (床数)	1 (72)	1 (<u>100</u>)	1 (<u>100</u>)	1 (<u>100</u>)

●P102 「イ)住宅改修の点検」の②の文言追加

②上記以外の住宅改修(人生80年いきいき住宅改修事業と同時の住宅改修を含む。)の事前申請時及び完了後本申請時において、人生80年いきいき住宅改修事業担当者又は必要に応じて専門職と連携及び調整し現地確認を実施します。

●P103 「ア)定期の指導・監査」の②の文言修正

修正前

②市内の地域密着サービス事業者及び居宅介護支援事業者に対して、3年に1回の監査指導を実施します。



修正後

②市内の地域密着サービス事業者及び居宅介護支援事業者に対して、6年に1回以上の監査指導を実施します。

●P104 【評価指標】の追加

【評価指標】

■適正化実施による効果

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
申立件数(件)	計画値				30	40	50
	実績値	7	35	※20			
効果額(円)	計画値				250,000	300,000	350,000
	実績値	55,614	135,487	※200,000			
<u>住宅改修等の現地 確認件数(件)</u>	計画値				<u>24</u>	<u>36</u>	<u>48</u>
	実績値						

※平成29年度実績は見込み値

●P106~112 介護保険料の算定の修正

(1)介護保険サービス事業量の見込みの修正

(2)介護予防サービス事業量の見込みの修正

(3)標準給付費の見込みの修正

(4)地域支援事業費の見込みの修正

(6)平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料額の算定の追加